

番号	氏名	抱負
171	塚本 篤子	NTT東日本関東病院の塚本です。放射線防護部会長を平成27年度、28年度と務めさせていただいています。一般病院の血管撮影の臨床の現場にいますので、その立場で学会の活動や方向性に対して考えていければ、役に立てればと思ってます。また、東京支部の会員ですので、東京支部の活動にも微力ではありますが、協力したいと考えています。よろしくお願いします。
172	辻 真太郎	日本放射線技術学会の国際化の推進は、国内のみならず、アジア・欧米諸国の放射線技術に影響を与えると同時に、技術・人材の交流が拡大するとともに、放射線技術学の発展に大きく貢献すると考えます。また、国際化の実現には、学会本部と地方の橋渡しとして国際化を浸透させる役目が必要です。私はそうした役割を担いたいと考え代議員に立候補致しました。自分自身まだまだ未熟ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。
173	辻岡 勝美	私にとって日本放射線技術学会は一番重要な学会です。現在、日本放射線技術学会の国際戦略委員として活動を進めております。これまでアジア、ヨーロッパ、北米の研究者との交流も行ってきました。特にアジア圏ではCTIに関する講義・講演を多く行ってきました。これらの経験、ネットワークを日本放射線技術学会の国際化推進のために活用したいと考えております。よろしくお願いします。
174	對間 博之	茨城県立医療大学 對間(つしま)博之です。現在、学術委員会とJSRT-JART将来構想会議の委員および核医学部会(部会長)として学会活動をしております。今後も各専門領域が協働して本学会が発展するよう、微力ながら貢献できればと考えております。また、諸先輩方の後を追従するだけでなく、次世代の学会の在り方について、同世代の仲間と共に考えながら活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
175	辻本 武志	支部・部会・専門技師会等での活動を通して放射線技術学の発展に少しでも寄与できれば、と考えております。よろしくお願いいたします。
176	坪井 孝達	浜赤松十字病院の坪井と申します。入会以来、学術大会への参加、学会発表、論文投稿など学会にはたいへんお世話になってきました。これからは代議員という立場で学会活動に関わることによって、少しでも恩返しができるという思いでこの度立候補いたしました。今後の技術学会の発展のために、微力ですが何かお手伝いをしたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。
177	寺澤 和晶	豊富な知識を持った会員とともにエビデンスに基づいた技術を医療に提供すること、放射線技術学における学術活動および研究に関する運営に係わることにより幅広く活躍する地域会員の声を届けたい。そして、迅速で正確な情報伝達に努め、双方向で情報伝達を行えるよう配慮することで地域会員の育成、学会の発展に貢献したい。また、法人の適切な業務運営を確保するための一役を担いたいと考えている。
178	寺田 理希	日常は、MRIを中心とした臨床研究や技師長としてマネジメント業務に携わっております。また、本会の運営にも少しながら参加させていただいています。今回、本会の日本の放射線技術学を世界的に発信するための国際化を意識した取り組みなど、質の高い本会の取り組みに少しでも貢献できるよう学会代議員として尽力したいと存じます。よろしくお願いいたします。
179	土井 司	12年間理事を務めさせていただいた経験を元に、日本放射線技術学会がさらに発展するための斬新な提案と活動がまだできると考えています。
180	栃原 秀一	医療情報部会委員としてPACSベーシックセミナー、PACSスペシャリストセミナーで「画像保管」を担当してきました。年々増加する医用画像は院内および外部保管を含めImage Life Management(ILM)が必要になります。また、放射線線量情報管理の標準化やリスクマネジメントを放射線技術学として体系化する必要があります。これらのエビデンスを示す研究の発展に携わりたいと思います。